



## 4 「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

 = 新規事業  = 拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 県営ほ場整備事業等負担金

1億1,024万円

【令和元年度への繰越額 1億9,129万円】

(担当：農村整備課計画調整係、農地整備係)

地域で描いた将来の営農構想を実現するため、担い手の育成を図るとともに、農地の集積を促進し、ほ場の大区画化、用排水施設、農道等の整備を行いました。

ほ場整備事業 13地区

【築館】 芋埜地区

【若柳】 川北地区、川北2期地区、伊豆沼2工区地区、沼田・八木地区、大目地区

【栗駒・鶯沢】 稲屋敷・袋地区 【高清水】 東田地区

【瀬峰】 大里地区、上富地区、迫第4地区、藤田地区 【志波姫】 上沼地区

調査事業 3地区

【若柳】 上畑岡地区

【瀬峰】 瀬峰地区

【金成】 津久毛地区

#### くりはら和牛の郷づくり支援強化事業

1,482万円

(担当：農林畜産課畜産振興係)

和牛資源の確保と産地づくりを支援するため、栗原市内で生産された優秀な繁殖素牛や肥育素牛を、みやぎ総合家畜市場から導入した場合に補助金を交付しました。

また、産肉能力の<sup>しげひろみ</sup>高い<sup>ひろいとなみ</sup>茂洋美産子、<sup>かつ</sup>洋系<sup>かっ</sup>波産子、<sup>ただひさ</sup>勝<sup>ただひさ</sup>久産子、<sup>しげふくひさ</sup>茂福久産子<sup>しげふくひさ</sup>の場合は、補助金を増額して市内保留を推進し、和牛資源の確保を図りました。

補助頭数 274頭



宮城県基幹種雄牛「茂福久号」<sup>しげふくひさ</sup>

#### 多面的機能支払交付金

4億2,042万円

(担当：農業政策課農業政策推進係)

農業・農村が有している国土の保全、資源かん養、景観の形成などの多面的機能の維持・発揮を図るため、日頃、地域の皆さんが行っている農地等の保全管理のための共同活動に対して支援しました。

多面的機能支払（農地維持・資源向上）交付金

146組織 対象農地8,715.30ha

資源向上（長寿命化）交付金



20組織 対象農地1,264.01ha



資源向上（長寿命化）交付金により補修した水路

## 4 「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまち」

### (1) 持続可能な農林業の育成と栗原ブランドの確立に取り組みます

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### 野生鳥獣対策事業

1, 253万円

(担当：農林畜産課林業振興係)

野生鳥獣による農林水産業等被害や人的被害を防止するため、鳥獣被害対策実施隊による有害鳥獣の計画的な捕獲や、捕獲用わなの購入などを行いました。

また、被害防止のため、電気柵等を設置した方に対する助成や、新たに狩猟免許及び銃所持許可を取得した方に対する助成、鳥獣被害対策実施隊員にベスト等の装備品の貸与を行いました。

鳥類捕獲数 1, 633羽  
獣類捕獲数 199頭 (ツキノワグマ6頭、イノシシ184頭、  
ハクビシン9頭)



イノシシ被害の防除状況

#### アンテナショップ等での物産販売事業

70万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

アンテナショップ「宮城ふるさとプラザ」への出展に加え、首都圏の新たなアンテナショップを活用し、市特産品等の販売促進と観光情報の発信を行いました。



東京都巣鴨「座・ガモール」  
イベントセレモニーの様子



毎年出展している東京都池袋「宮城ふるさとプラザ」

#### 大学等との連携による地域農業戦略事業

11万円

(担当：農業政策課6次産業・ブランド推進係)



東北大学大学院農学研究科・栗っこ農業協同組合・栗原市の地域連携協定事業として、東北大学農学部教授を講師に招き「栗原市畜産講演会並びに第57回東北大学農学カルチャー講座」、「栗原地域農業所得向上セミナー並びに第58回東北大学農学カルチャー講座」を開催しました。



栗原地域農業所得向上セミナー並びに  
第58回東北大学農学カルチャー講座

## 4 「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまち」

### (2) 産業育成と企業誘致による産業拠点を形成します

=新規事業 =拡充事業 (事業名の頭に標記)

**企業立地投資奨励金** 4億1,118万円  
**企業立地促進奨励金** 3,418万円

(担当：産業戦略課企業戦略係)

#### 【企業立地投資奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模と市内在住の新規常時雇用者数に応じて投資額の10%～20%を助成しました。

助成件数 4社

#### 【企業立地促進奨励金】

市内に新設・移設・増設する企業に対し、投資規模に応じて固定資産税相当額を助成しました。

助成件数 7社

**ニュービジネスチャレンジ等支援事業**  
**240万円**

(担当：産業戦略課企業戦略係)

市内で新たに創業する事業者に対し、事務所等の賃借料や施設改修費等を補助しました。

#### 【制度概要】

- ・賃借料補助（3年間）  
補助率1/2、限度額4万円/月
- ・改修経費補助（1回限り）  
補助率1/2、限度額50万円
- ・セミナー等参加経費補助  
補助率2/3、限度額20万円

補助件数 賃借料補助 5件  
 経費補助 4件

**チャレンジショップキーパー支援事業**  
**605万円**

(担当：産業戦略課商工振興係)

商店街の空き店舗を活用し、出店する中小企業者に対し、空き店舗の賃借料及び店舗の改修費を補助しました。

#### 【制度概要】

- ・賃借料補助（3年間）  
補助率1/2以内、限度額4万円/月
- ・改修経費補助（1回限り）  
補助率1/2以内、限度額50万円

補助件数 賃借料補助 18件  
 改修経費補助 5件

 **買い物困難者支援事業** 125万円

(担当：産業戦略課商工振興係)

県の補助事業を活用し、商工会や地域の中小企業者等が実施する消費者ニーズ調査、小売店の新規開業、移動販売、送迎サービス事業の初期投資額に対して補助しました。

#### 【制度概要】

- 事業費補助（1回限り）  
補助率5/6以内、限度額334万円
- ※補助率の内訳：県1/2以内、市1/3以内

補助件数 1件

**中小企業経営安定化支援事業** 3億3,682万円  
**中小企業振興資金利子補給補助事業** 1,085万円



(担当：産業戦略課商工振興係)

中小企業者の経営の合理化と健全な発展と安定を図るため、融資のあっせんを行いました。また、保証料の全額と利子負担の大きい1年目・2年目の利子額の1/2を補助しました。

- 【制度概要】
- |         |                         |
|---------|-------------------------|
| 融資制度    | ・融資限度額：2,000万円          |
|         | ・償還年限：設備資金10年、運転資金7年    |
| 保証料補給制度 | 融資に係る保証料を全額補給           |
| 利子補給補助  | 利子額の1/2補助、2年間（借換え分は対象外） |

## 4 「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を活かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

 新規事業  拡充事業 (事業名の頭に標記)

#### くりはら田園鉄道公園運営事業

1, 905万円

(担当：企画課企画政策係)

貴重な旧くりはら田園鉄道の資産を展示・公開する「くりでんミュージアム」、KD95など気動車の動態保存、レールバイク乗車会などのイベント及び気動車運転体験等を通じて、くりでんの魅力を発信し、さらなる観光誘客を図りました。



くりでん (KD95) 乗車会

#### インバウンド等推進事業

1, 457万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

外国人旅行客等へ向けた旅行商品の造成や展示商談会の「ITF2018台北国際旅展」に出展し、インバウンド誘客拡大に向けて観光情報や魅力を発信しました。



台北市で開催された「ITF2018台北国際旅展」の様子

#### 栗駒山麓ジオパーク推進事業

4億6, 967万円

(担当：ジオパーク推進室ジオパーク推進係)

栗駒山麓ジオパークにおける、ジオガイドの養成講座や防災教育、ジオパーク学習、市内外からの視察やツアーなどの受け入れを行ったほか、ジオパーク活動の拠点施設となる栗駒山麓ジオパークビジターセンターの整備を行いました。



完成したビジターセンター

#### くりはら交流プラザ改修事業

4億9, 225万円

(担当：市民協働課地域振興係)



改修後のツインルーム

くりはら交流プラザは、開業から約20年が経過し、劣化が進んでいることなどから修繕箇所が増加が顕著となっており、また、2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピック事前合宿の宿泊施設としての活用や、インバウンド観光及びスポーツ合宿の受け入れ等を視野に、ホテル棟を中心に改修工事を行いました。

## 4 「地域の特性を活かした、産業や交流が盛んなまち」

### (3) 地域資源を活かした広域観光戦略を構築し、栗原市を発信します

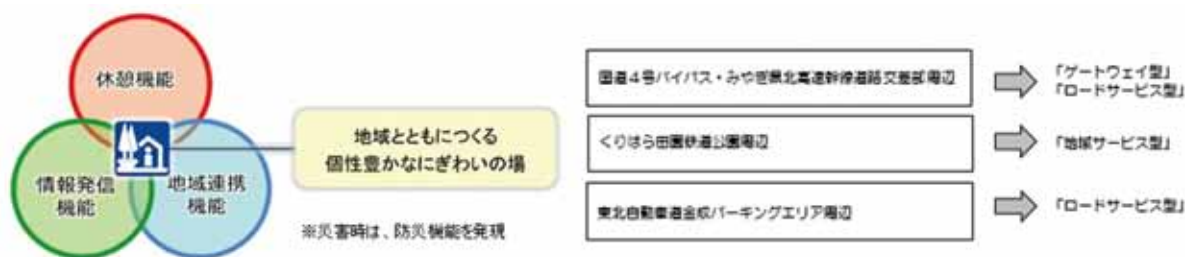
■ 新規事業    ■ 拡充事業    (事業名の頭に標記)

#### ■ 道の駅推進事業

415万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

道路利用者のための「休憩機能」、道路利用者や地域の方々のための「情報発信機能」、そして活力ある地域づくりを行うための「地域連携機能」を併せ持つ休息施設「道の駅」の整備に向けて、調査・検討を行いました。



道の駅の機能

【検討結果】候補地の選定と道の駅のタイプ

#### ■ 市民活動(イベント)大賞事例発表会

44万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

市から補助金を交付されていないイベントの事例発表会を開催し、優秀なイベントに対して表彰を行うとともに、地域の魅力づくり向上につなげました。



イベント大賞審査会・表彰式の様子

グランプリ 「ツール・ド・いちはさま2018」

団体名：ツール・ド・いちはさま実行委員会

準グランプリ 「南くりこま高原一迫ゆり園」

団体名：町おこしユリの会

優秀賞 「みんなであわせになるまつり2018」

団体名：みんなであわせになるまつり実行委員会

#### ■ くりはら遺産創設事業

2万円

(担当：田園観光課観光プロジェクト係)

市民が慣れ親しみ、郷土の誇りとして育んできた地域資源を、「くりはら遺産」に認定することにより、地域の活性化につなげる制度を創設しました。

#### ■ 東京オリンピック事前キャンプ誘致等推進事業

977万円

(担当：社会教育課スポーツ推進係)

2020年東京オリンピックの参加を目指している海外チームを対象に、ホッケー男子3カ国親善試合を開催し、交通アクセスの良さや競技施設のほか、豊かな自然など栗原の魅力アピールし、事前キャンプの誘致活動を行いました。